

醤油用・パン用小麦「はるみずき」の特性

農業研究部・水田農業グループ

1. 研究の背景

現在普及している醤油用・パン用小麦「ミナミノカオリ」や「ニシノカオリ」は栽培性・収量性に課題が多く、生産現場や実需者から優良な新品種への転換を求める声が高まっていた。そこで、現行品種に比べ**早生・短稈**で栽培性に優れ、**多収・高タンパク**の「はるみずき」を認定品種に採用した。※「はるみずき」は、農研機構西日本農業研究センターにおいて育成された(2019年2月品種登録出願公表)

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ①短稈で耐倒伏性に優れ、出穂期は6～7日、成熟期は3～4日早い‘白ふ’の早生品種である。
- ②穂数は少ないが、穂長は長く、収量は107%～110%高い。子実タンパク含有率は同程度で高い。
- ③他の麦品種に比べ幼穂形成が早いので、凍霜害回避のため必ず11月下旬以降に播種する。
- ④タンパク含有率の維持・向上には、**実肥**の施用が必須である。粒状肥料のほか、赤かび病防除同時尿素葉面散布も適用可能である。既存品種よりも7日程出穂期が早い**ためタイミングを逸さないよう注意する。**

表. 調査データ (水田農業グループ、適期播・条播)

品種名	出穂期 月・日	成熟期 月・日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 程度 (0-5)	収量		容積重 g	千粒重 g	品質		病害・諸障害		タンパク 質含有率 %
							子実 重 kg/10a	対比 %			概評 (1-6)	検査 等級 (1-5)	赤かび 粒 (0-5)	硝子粒 (0-5)	
はるみずき	4.02	5.27	79	9.2	388	0.8	508	107	847	37.4	3.4	3.5	0.0	8.7	14.2
ミナミノカオリ	4.09	5.31	84	8.3	422	1.7	475	100	859	38.4	2.8	3.1	0.2	9.3	14.5
ニシノカオリ	4.08	5.30	90	8.0	442	1.8	466	98	847	42.1	3.3	3.0	0.0	8.3	14.5

注1) 表中の値は、4カ年(2015～2018年)の平均値である。使用ふるい：2.0mm。

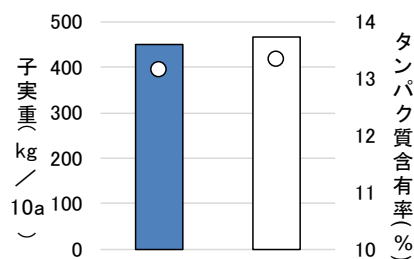
注2) 倒伏、病害及び諸障害の発生程度：0(無)～5(甚)、硝子粒のみ0～10。

注3) 子実重、容積重、千粒重：水分12.5%換算値。タンパク質含有率：原粒、水分13.5%換算値。

注4) 品質概評：1(上上)～4(中中)～6(下)、検査等級：1(1等上)～4(2等)～5(規格外)。



図. 成熟期頃の立毛の比較



「はるみずき」実肥の尿素葉面散布法適用性の検討 (2017～2018年度)

■ 子実重 ○ タンパク質含有率

注) 6%尿素溶液を穂揃期以降に2回散布

3. 期待される効果

- ・農家所得の向上、県内実需者への安定供給
- ・2020年秋播より、3カ年かけて生産地へ順次導入を開始する予定である。

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 水田農業グループ

TEL:0978-37-1160/FAX:0978-37-1898/所在地:大分県宇佐市大字北宇佐65